

ワタ 281 系統、ワタ 3006 系統及び除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統の概要

項 目	概 要		
品 種	ワタ 281 系統	ワタ 3006 系統	除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統
申請者	ダウ・ケミカル日本 (株)		日本モンサント (株)
開発者	Mycogen Seeds/Dow AgroSciences LLC. (米国)		Monsanto Company (米国)
製品の概要	ワタに <i>Bt(cry1F)</i> 遺伝子を導入することにより、Cry1F タンパク質が発現し、チョウ目害虫に抵抗性をもつ。また、 <i>pat</i> 遺伝子を導入することにより、PAT タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性をもつ。	ワタに <i>Bt(cry1Ac)</i> 遺伝子を導入することにより、Cry1Ac タンパク質が発現し、チョウ目害虫に抵抗性をもつ。また、 <i>pat</i> 遺伝子を導入することにより、PAT タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性をもつ。	ワタに改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子を導入することにより、CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性をもつ。
宿 主	<i>Gossypium hirsutum</i> 種ワタ	<i>Gossypium hirsutum</i> 種ワタ	<i>Gossypium hirsutum</i> 種ワタ
挿入遺伝子 (供与体)	・ <i>Bt(cry1F)</i> 遺伝子 (<i>B. thuringiensis</i> var. <i>aizawai</i> 由来) ・ <i>pat</i> 遺伝子 (<i>S. viridochromogene</i> 由来)	・ <i>Bt(cry1Ac)</i> 遺伝子 (<i>B. thuringiensis</i> var. <i>kurstaki</i> HD73 由来) ・ <i>pat</i> 遺伝子 (<i>S. viridochromogenes</i> 由来)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> CP4 株由来)
選択マーカー (供与体)	—	—	—
新たに獲得 された性質	チョウ目害虫抵抗性 除草剤グリホサート耐性	チョウ目害虫抵抗性 除草剤グリホサート耐性	除草剤グリホサート耐性
可食部分に発 現する遺伝子 産物の発現量	種子中の生組織重量 1g あたり、 Cry1F タンパク質：5.13 μ g PAT タンパク質：0.47 μ g	種子中の生組織重量 1g あたり、 Cry1Ac タンパク質：0.57 μ g PAT タンパク質：0.06 μ g (検出限界以下)	種子中の生組織重量 1g あたり、 CP4 EPSPS タンパク質：340 μ g
安全性審査を 経た旨の公表 (官報告示日)	平成 17 年 9 月 5 日	平成 17 年 9 月 5 日	平成 17 年 4 月 7 日